

19介護サービス評価調査者養成研修カリキュラム

	研修項目	時間	研修内容	19年度講師
第一日目 10/16 (火)	開講及びガイダンス	10:00~10:15 15分	開会の挨拶 ガイダンス	
	第三者評価の意義	10:15~11:00 45分	・介護保険制度の概要 ・第三者評価事業	京都府介護保険事業室 副室長 小西彰氏
		11:10~12:10 60分	・評価の必要性 ・第三者評価実施のねらいと効果 ・監査との違い ・京都での第三者評価事業	支援機構会長 永和 良之助氏 (佛敎大学 社会福祉学部教授)
	第三者評価の流れと活かし方	13:00~14:00 60分	・支援機構の役割 ・評価実施の手順 ・公表方法 ・評価情報の活用	支援機構事務局 (京都府社会福祉協議会 総務部長) 秋元正保氏
	評価調査者の役割及び倫理①	14:15~15:15 60分	・評価調査者の視点及び役割 ・評者調査者に求められる資質と倫理(具体的事例を交えて)	京都市老人福祉施設協議会 羽賀進氏 (京都市東高瀬川デイサービスセンター施設長)
評価調査者の役割及び倫理② ～受診事業所の側からみた 第三者評価の取組について～	15:30~16:30 60分	・事業所におけるサービス向上の取組 ・受診事業所にとっての第三者評価	財団法人仁風会 訪問介護事業所さがの 管理者 川添チエミ氏	
第二日目 10/18 (木)	第三者評価基準の解釈①	9:30~12:00 150分 (30分休憩含)	・共通評価項目及び各サービス評価項目の活用方法 ・共通評価項目及びチェック項目の解釈 ・共通評価項目で、解釈に必要な項目についての理解	京都市老人福祉施設協議会 奥本喜裕氏 (東九条のぞみの苑施設長)
	第三者評価基準の解釈②			
	訪問調査における留意事項	13:00~14:40 100分 (15分休憩含)	・事業所見学の観点 ・書類等の確認方法 ・訪問調査における利用者とのかかわり ・訪問調査と評価審査委員会の役割 ・評価審査委員会の開催方法 ・利用者アンケートの活用方法 ・アドバイス・レポートの役割 ・アドバイス・レポートの作成方法	京都府介護福祉士会 石原正三千氏 (特別養護老人ホーム 松寿園施設長)
	評価結果の決定方法			
	アドバイス・レポート			
訪問調査グループワーク	14:50~16:50 120分	・訪問調査の事前調整 (グループリーダーの決定・実習についての事務連絡・自己評価票の読み込み・グループワーク)	京都府介護福祉士会 石原正三千氏 (社会福祉士会 藤憲之氏)	
第三日目	評価実習 訪問調査(10:00~16:00)	10:00~16:00 300分	・訪問調査の実践 ※昼食は、施設の食堂で利用者と一緒に食事をしていただきます ※実習施設までの交通費及び昼食代は、各自、実費を負担ください。	10/30(火)、11/2(金)、 11/13(火)の内、1日間実習 3~6人1グループで実習 スパー・バザー同行
第四日目 11/21 (水)	ガイダンス	9:20~9:30 10分	ガイダンス	
	グループワークⅠ	9:30~11:00 90分	・評価審査委員会の運営 ・評価結果の決定	京都社会福祉士会 藤 憲之氏 (京都YMCA国際福祉 専門学校) 斎藤裕三氏 (特別養護老人ホーム 神の園 副施設長)
	グループワークⅡ	11:00~12:00 60分	・アドバイスレポート作成	
	グループワークⅢ	13:00~14:00 60分	・アドバイスレポート作成	
	訪問調査事例発表 質疑応答	14:00~16:30 150分	・訪問調査についての“振り返り”	
閉講	16:30~16:40 10分			
講義 8. 2時間 / 実習(2日目グループワーク~4日目) 13時間 合計21. 2時間				